

令和 8 年度用改訂教科書紹介

実教出版編修部

2022年4月より現行指導要領にもとづくカリキュラムがスタートし、弊社発行の「家庭基礎」「家庭総合」教科書が高等学校で使用されてから3年が経過しました。

この間、高等学校では「1人1台端末」が実現し、ICTを活用した授業スタイルが多くみられるようになってきました。家庭科の授業においても、「板書からスライド活用へ」「定期テスト廃止」「知識習得のウエイトを下げ、主体的な学びを中心とした授業を実施」など、先生方の授業や生徒の学びの有り方も、大きく変わりつつあります。これらを背景として、「家庭基礎」「家庭総合」教科書に求められる役割は従来にも増して、より一層、多様になってきました。

時代の変化に合った、先生方にお使いいただきやすい工夫を行った教科書づくりを考える中、実教出版編修部では、全国の家庭科の先生方へのアンケート調査や聞き取り調査を続けて参りました。その結果を一部ご紹介します。

アンケートや先生方への聞き取りで分かった授業の現状や教科書への要望など（編修部要約）

○新指導要領では資産形成について記載されたが、他社教科書も含め、教科書内ではほとんど扱っていない。どこまで授業をして良いか手探り状態。教科書でしっかりと示してほしい。

○防災や安全教育を実施する学校が増え、プリントを作成したり、外部講師を招いたりなど、独自の工夫で授業を行っている（災害食、災害時の備えやハザードマップの確認、避難所運営シミュレーションなど）。

○SDGsに関連した授業は中学校でも実施しており、高校生はSDGsについて一定浸透した段階にある。そのため、高校教科書では、概念的な説明だけでなく自分の生活との関わりがわかるコラムや具体的な実践例などの紹介を求める声がある（自分たちには何ができるのか、など社会課題を自分の生活と結びつけて主体的に考えるきっかけづくりをしたい）。

○「ホームプロジェクト」に取り組む学校が多いが、生徒にとってはテーマ設定が難しい。教科書に具体的なテーマが示されていたり、手順などが示されていたりすると、より生徒にとっても取り組みやすくなる。

○社会状況に合った最新の話題や、高校生が目にしたことがあるような身近な資料（写真など）を授業で積極的に取り上げたい。

○中学校で学習した内容との関連が分かるよう、教科書内で中学既習の内容が分かる工夫を望む声がある。

○実習（調理・被服など）にかけられる時間が少ないので、短時間でもできるような題材が選ばれることが増えた。特にコロナ禍の調理実習においては感染予防のため共同作業が難しくなり、1人で調理できるものを作るケースが増え、現在もその傾向は続いている。

○教材は使わず、教科書のみで授業を行う学校が増加傾向にある。

このほか、アンケートでは、現行教科書から搭載されているQRコンテンツや指導資料デジタルコンテンツ（教師用コンテンツ）に関する要望も数多く頂戴しました（余談となりますが、今回のアンケートで最も特徴的だったことの一つとして、教科書の内容よりもデジタルコンテンツに対する意見・要望が圧倒的に多かったことが挙げられます）。

動画などのICTコンテンツは、限られた授業時間内で生徒の理解を促す、実習を効率的に実施できるなどのメリットがあり、先生方から大きな期待が寄せられている教科書の一要素と言えます。

これらの授業実態や先生方のさまざまなご要望を受けて、改訂版「家庭基礎」「家庭総合」教科書では以下の3点を工夫しました。

①ホームプロジェクトのページを見直し、テーマ設定に役立つ以下のQRコンテンツをご用意しました。

次ページの図をご参照ください。

《ホームプロジェクトのテーマを選んでみよう》

Q2

SNSやインターネットを
使うのは得意である



はい

いいえ

▲「はい」「いいえ」で質問に答えていくと、自分に合ったテーマ例が表示されます。

ホームプロジェクトのテーマを選んでみよう！

年 組 番 名 前 _____

選んだホームプロジェクトのテーマ例

自分の食べているものが、どの国から来たのかも調べよう

See

日本の食料自給率はかなり低い。国内産食材だけで食事はつくれるだろうか？国内産食材と輸入食材の購入費のどの程度あるだろうか。

Plan

国内産食材を使用した夕食の献立をたてる。購入した食材と同じ輸入食材の価格を調査する。

i See

国内産食材を使用した夕食の良かった点、不便だった点のまとめを行い継続できるか検討する。調味料まで国内産でそろえられるか調査する。

Do

休日に国内産食材の購入、輸入食材の価格調査、部活動や課外活動のない日に夕食をつくる。つくった夕食の食材費と、調査した輸入品の食材費を比較する。

ホームプロジェクトのテーマ
(必要に応じて書き換えてください)

テーマをどう進めていこうか考えよう

▲入力した内容は、PDFで出力が可能です。課題提出に便利にお使いいただくことができます。

②家庭科で「今、教えたい」今日的な以下の話題を厳選し、特集ページとして新設しました。

- 【18歳成年】…民法改正により18歳成年となったことの影響や、自立について考えることができます。
- 【防災・減災】…災害による被害を防いだり、被害を最小限に抑えたりするためにできることを考え、実践できます。
- 【金融教育（資産形成）】…ライフイベントや生活リスクに備え、自分に合った資産形成について考えることができます。

③QRコンテンツを質・量ともにさらに充実させました（下記はその一例です）。

Trend Topic 1 [大人になるとどんなこと?]

1 成人年齢が20歳になるまで

2 将来をどう生きていこうか

3 シンパチ民生活

4 成人年齢の引き上げ

5 経済生活で18歳からできること



Trend Topic 3 [資産形成について考えよう]

1 資産形成はなぜ必要?

2 あなたは何タイプ?

3 金融商品はどれを選ぶ?



▲「新家庭基礎 気づく力 築く未来」特集ページ

【シミュレーション】

- ・ホームプロジェクトのテーマを選んでみよう（左段）
- ・職業適性チェック
- ・ひとり暮らしを始めるまでにかかる費用は？
- ・ひとり暮らしにはいくらかかるだろう？

【動画】

- ・実習関連動画など約50本

上記に記載した改訂版「家庭基礎」「家庭総合」教科書共通の特色の他、各教科書ごとの特色を次にご紹介します。

新家庭基礎 気づく力 築く未来



★自分の課題、身の回りの課題に気づき、それに取り組む力をはぐくむ教科書

【現行から継続の特色】

- 各節に設置した授業の流れが作りやすい導入と振り返り (Start Activity と Check)
- 身近なところから、社会、さらに世界へと視野を広げられる豊富なコラムや実践活動 (Activity)

【新たな特色】

- ★「章とびら」を設置し、これから学習する内容を俯瞰できるビジュアルな写真と「中学の家庭科で学んだことは？」コーナーを設けました。
- ★食分野ページに「食品成分表」を追加しました。
- ★各章末に学習内容の振り返りができる「章末問題」を設置しました。

新図説家庭基礎



★基礎・基本を重視し、豊富な資料とていねいな解説でわかりやすさを重視した教科書

【現行から継続の特色】

- 精選された本文から、資料や詳しい解説へとリンクする資料一体型構成
- 日常生活と結びつけて考え、主体的・対話的で深い学びができる実践活動 (深ぼり WORK)

【新たな特色】

- ★学習前と学習後の理解度や自分の考えの変化を比較できる「章とびら」を設置しました。
- ★節ごとに3視点の振り返りを設けました。
- ★各章末に学習内容の振り返りができる「章末問題」を設置しました。

新 Agenda 家庭基礎



★時事的・社会的話題や資料が豊富で課題解決学習がしやすい教科書

【現行から継続の特色】

- 統計資料から各節に関連する社会的課題について理解を深められる導入 (テーマ Q & A)
- 現代社会が抱える諸課題を紹介したコラム (Today's Topic)

【新たな特色】

- ★「Q & A」(テーマ導入) や「Today's Topic」(時事的コラム) などて扱う話題や資料等を見直し、より今日的な話題や資料へアップデートしました。
- ★課題解決に取り組む高校生の事例を積極的に掲載しました。

新家庭総合



★生活の中の疑問・課題を「自分ごと」として捉えられる教科書

【現行から継続の特色】

- 各節に設置した授業の流れが作りやすい導入と振り返り (Start Activity と Check)
- 身近なところから、社会、さらに世界へと視野を広げられる豊富なコラムや実践活動 (Activity)

【新たな特色】

- ★「章とびら」を設置し、これから学習する内容を俯瞰できるビジュアルな写真と「中学の家庭科で学んだことは？」コーナーを設けました。
- ★食分野ページに「食品成分表」を追加しました。
- ★各章末に学習内容の振り返りができる「章末問題」を設置しました。

© 編修・発行 実教出版株式会社 代表者 小田良次

通巻 89 号
2025 年 4 月 1 日 発行

発行所 〒 102-8377 東京都千代田区五番町 5
TEL. 03-3238-7777 <https://www.jikkyo.co.jp/>